

やつおもて

第27号（2020年4月）
編集発行：和田公民館
協力：公民館運営推進委員
電話：（45-1918）
eメール：wada-k@ph-hamada.jp



～和田地区いろいろ見て歩く記～

は～るをあいするひ～とは

こ～ころ きよきひと～



す～みれの花のような

ぼ～くのともだち～



花々が咲き、田んぼの準備も始まり春の装いとなってきましたが、風はまだまだ冷たくみぞれや雪が降ったりと不安定なお天気が続いています。皆さんは、いかがお過ごしでしょうか？体調に気を付けて一緒に春本番を待ちましょう！（つぬ）

【和田地区の歴史コーナー】

和田地区のお寺紹介①です。

つぬです！



福城山 清岸寺

【福城山清岸寺】

- ◆宗派 浄土真宗本願寺派
- ◆本尊 阿弥陀如来
- ◆開基 1953年 教尊
- ◆由緒 同寺由緒書に次のようにある。「享保5年（1720）子春（2月4日か）^{これちか}茲親公（津和野藩3代目藩主）御代寺社奉行



大口安兵衛殿御時お願い申し上げ寺号御免仰せつけられ、さっそく上京つかまつり同年3月17日御本山御免状くだしおかれ候」まず藩主が寺の設置を認め、次に本山から寺号免状を貰っていたのである。1653年から、この年までは非公式な存在であったというのである。1637年2月8日、2代目法説は本山から「国絹袈裟席」を許されている。1766年3代目義覚の時に本山から親鸞聖人のご影像を受けている。その後「乗運」「慈恩」「慈運」「大乘」「慈教」と相続して明治に至っている。

1911年（明治44）本堂を建て替え瓦屋根にした。時の住職服部信敬。以前の本堂は5間×5間であったが、この時7間半×8間半に拡張した。本堂の丸柱には檜を、角柱には栗を使っている。木挽は戸川の太田松太、重富の寺本浜吉、大工は重富の大屋庄吉、夫遣いの責任者は岡本市十であった。大屋は4年前に日貫の願入寺を建て、清岸寺を建てた時は27歳であった。両寺の建て方は同じであるが願入寺がやや広い。大屋は、市木の光西寺も建てており、細工物も自作であるという。1913年（大正2）入仏式を行う。

庫裡は、1933年（昭和8）都川の郷祖と戸川の新井屋を買って合作したもので柱は栗、敷居は桜と松、大きい中引が使われている。（旭町誌上巻より抜粋）（※近世の西本願寺派僧侶の「位階」の1つ。明治9年まで使われていた）

ありがとう その一言で 咲く笑顔

★続いては和田地区に伝わる伝説のコーナーです★



下和田の長山喜一郎

中編

前編のお話は、正蓮寺の山門建立の為に住職が連れ帰った大工の長山喜一郎さん。「上女中」の佐々岡ミネさんと一緒になって、喜一郎さんの評判は日増しに高くなってきた。というところでしたね！さあ、続きをどうぞ！

約2年の間、2人は家の横から山際を下り、木田への道を通った。

そして、喜一郎は山門竣工へと精を出し、ミネは甲斐甲斐しく寺の上女中として益々張り切った。時に羽須美村の西蓮寺の楼門建立も声がかかり行き来するようになった。

西蓮寺までは、下和田から60キロ、遠き泊りがけの逗留仕事となった。

ここでは勿論ミネの料理などは無い。わずかばかりの賄い飯。喜一郎にとって酒もうまくない。資金の遅れもあって気の進まぬ仕事になった。



西蓮寺の山門

気の進まぬ仕事は遅れるもの・・・工期予定は伸びに伸びる。夕食時のまずい酒を1人であおる。昼間の仕事の疲れでウトウト・・・横になっているとなにやら夜の薄あかりの中に白い影・・・？ ウン？ 何だ？
上がり「かまち」の外に、ミネ？ ミネが！立っている。うつむいて・・・

我に返るように目を擦ってみる・・・と・・・消えた・・・

「夢かア～～ありゃ確かにミネに見えたが・・・わしの気のせいかな・・・疲れのせいかな・・・」
それからしばらくして彼は睡魔に襲われ眠ってしまった・・・が！ よりによってそんな事が翌日も、又その翌日も、3日続けてあった。このことで、喜一郎は、これは何か下和田に居るミネに起きたのではないかな？恐ろしい事でも起きているのではないかと疑心暗鬼に陥ってしまった。「何かあったんだ」は確信に変わった！

そうになったら、彼の行動は早かった。「一本ゲタ」を穿いて夜を走りに走る。又走る。（その駿足は60キロの道程を1晩で走破したと伝説に残す。）

後編に続く（文：佐々岡健次 写真：邑南町HPより引用）

教子ウィムセットの海外便り 第6回



ウィムセット家、私のお仕事



さて、今回は私の働く病院についてお話しします。

現在、私は Vanderbilt university medical center、ヴァンダービルト病院内の Myelosuppression unit という血液のがん（白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）と骨髄移植専門の入院病棟で看護助手として働いています。



笑顔いっぱいの職場の仲間

アメリカの病院は、たいてい朝7時から夜7時までの12時間勤務が多く、今は日勤ですが数年前は夜7時から朝までの夜勤をしていたこともあります。大抵の患者さんは、抗がん剤などの治療や骨髄移植を受けるために入院します。入院期間は、1日で退院される方もいますし、たいていは数週間の入院で済むことが多いです。まれに長

くて2ヶ月弱の滞在でお家へ戻られます。

さて、私が病棟でどんな仕事をしているかと言いますと、例えば熱や血圧を測ったり、トイレやお風呂への介助、検査や処置のお手伝い、リハビリを行ったり、車椅子の患者さんやご家族と外で一緒に気分転換をしたり・・・あっという間に1日が過ぎます。

私がアメリカの病院で働いていることを日本の友達に話すとビックリされますが、今、丸9年勤務して、病院で患者さんを看護するという事は、日本もアメリカも同じだなあ、と感じます。もちろん、会話はすべて英語ですし、日本語を話せる人は誰もいません。しかし、英語が流暢ではなくても、何かお手伝いがしたい、と患者さんのことを思う気持ちは必ず相手に伝わりますし、言葉の壁を越えて、お互いに通じ合うことができます。患者さんからは、ノリコが夜勤の時は安心してゆっくり眠れる、あなたの笑顔を見ていると元気を貰える、ありがとう、と私の方が感謝をしたくなるような言葉をかけてくださる方もいます。きっとこれは、医療現場だけでなく、どこの国でどんな仕事をしていても同じだと思います。心があれば伝わるのですね！それはアメリカに来てから学びました。



病室はほぼ1人部屋

それから、私の病棟では、約 120 人の職員が働いています。常にお互いのコミュニケーションを大切にしており、チームワークがとても良い職場ですし、常に笑顔は絶えません。そして、ヴァンダービルトには子ども専門の病院、精神科、リハビリ科、外来と敷地内で建物がわかれています。患者さんの病室はすべて個室で日本のように他の患者さんと同じ部屋になることはほぼありません。

私は、アメリカの病院で働く機会に恵まれ、人間としてたくさん成長をさせて貰ったと思いますし、これからも引き続き新しい出会いを通してたくさんの方のことを吸収したいです！（文・写真 教子ウィムセット）

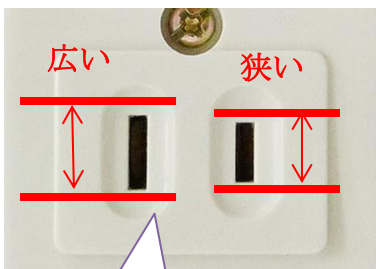
早田館長の電気のお話

No.11

家庭用コンセントにも＋・－があるのを、知っていますか？

差込口も違うのがわかると思いますが、幅の狭い方右側（＋）ホットといいます。左側広い方（－）コールドと呼びます。幅の違いは、施工後わかり易くする為です。

又、コールド側は必ず接地してあります。その為コールド側は触っても感電することはありませんが、右側（ホット）に触れると感電したりショートして火花が出ますので気を付けてください。作業する時は、ブレーカー（テンパル）を落としてください。

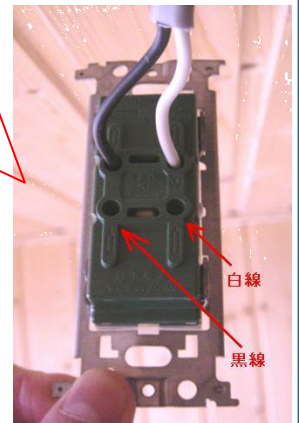


壁の差込口



差込プラグ（アース線の付いている方が－）

右図は、コンセントの裏側です。白い線はコールド側（－）です。Wと表示してあります。黒い線はホット側（＋）です。



次は

～つぬちゃんのこなのやりましたコーナー～



2月22日（土）島根県公民館研究集会が出雲市のサンレイク自然の家で開催されました。和田公民館は、今市・木田公民館と一緒に、協働で取り組んできたふるさと地域学習事業の発表をしました。単館で行う事業と協働で行う事業とを振り分けながら、小規模地域の公民館が協力しながらより良い活動が出来るように考えるきっかけになったように感じました。



あ と が き

新型コロナウイルス感染拡大の為に、学校関係が突然長期休校となり各所に波紋が広がっています。一生に一度の学校の卒業式も卒業生・保護者・教師での挙行となり、とても残念ですが、卒業生の皆さんには、このような状況に負けず新しい道に元気で進まれることを願います。自分にできる感染予防をしながら、1日も早く終息するのを待っています。（美）